

様式 4

平成 29 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立日野高等学校
 学校長 永野 智之

評 価 日	平成 30 年 2 月 20 日 (火)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
<p>1 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 評価項目における目標の達成状況</p> <p>① 学びの質的改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びの成果発表会」ではしっかりと考えたものや地域に提案する内容の発表があり、評価できる。学習内容が中学生へ広く伝わるよう工夫を望む。 ・学校評価アンケートの授業評価について、生徒アンケートと教員アンケートの結果ではギャップがみられる。授業における個への指導の充実を望む。 <p>② 社会の中で生き抜く力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情と自己有用感については、別々に扱い、評価すべき。 ・WYSH教育の取組内容の改善を望む。 <p>③ 地域と連携した教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中高合同の清掃活動は、生徒の活動内容等について事前の話し合いを充分に行い、異年齢交流活動が自己有用感に繋がる活動となることを望む。 <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校にはあまりない射撃部や郷土芸能部などの部活動を、中学生に体験できる機会をつくって欲しい。 <p>2 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>3 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の「学びの成果発表会」は土曜日開催で一般参観者が少なかった。次年度は、職場体験先や課題研究でお世話になった方々に参観してもらおうよう平日開催とする。 ・学校評価アンケートの内容、数値等について精査する。 ・協同学習の実践を推進していく。 ・生徒にとって有益なWYSH教育の内容を検討する。 ・生徒の活動において、自己有用感を高める仕掛けを工夫する。 ・特色ある部活動を中学生へ魅力的にプロデュースする方策を検討・実施する。 	